

# 林忠彦賞について調べる

## ・林忠彦賞とは…

林忠彦賞は、周南市出身の写真家林忠彦の功績を顕彰し、写真文化の振興を目的に、平成三年(1991)周南市と周南市文化振興財団によって創設された。「社会は心を撃つ写真をさがしています」のキャッチフレーズのもと、社会が求める、その時代を一番象徴する写真を選出することをコンセプトとしている。写真展は東京・周南・北海道の3カ所で開催される。

林忠彦(1918～1990)は大正七年、山口県周南市の祖父の代から続く写真館の長男として生まれた。「太宰治」「織田作之助」などの作品で世に認められ20誌以上の雑誌に発表する売れっ子作家となる。「日本の作家」「カストリ時代」など次々と発表。昭和二十八年(1953)二科会写真部を創設、アマチュア写真家の育成に力を注いだ。

## ・林忠彦賞を調べるためのキーワード

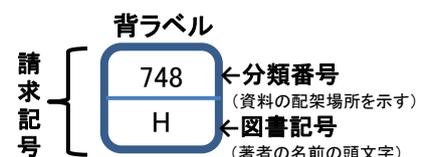
林忠彦 ・ 林忠彦賞  
写真 ・ 写真集

※いくつかのキーワードを使って検索することで資料を幅広く手に入れることができます。

## ・棚で探す<関連分野の分類番号>

740 写真  
748 写真集

※図書には1冊ごとにテーマを表す分類番号のラベルが付いていて、この番号順に棚に並んでいます。



## 【 林忠彦賞一覧 】

※[請求記号]が書かれている資料は、図書館に所蔵があります。  
◎がついている資料については、貸出用の資料があります。  
職員へお尋ねください。

- ・第1回(1992年) [後藤 正治「西域-シルクロード」](#) [請求記号]T74H
- ・第2回(1993年) [捧 武「田園の微笑」](#)
- ・第3回(1994年) [木村 仲久「静岡の民家」](#)  
[田崎 力「たかちほ」](#)
- ・第4回(1995年) [長 洋弘「帰らなかった日本兵」](#) [請求記号]T74H
- ・第5回(1996年) [岡田 満「追いつめられたブナ原生林の輝き」](#)
- ・第6回(1997年) [井上 冬彦「サバンナが輝く瞬間\(とき\)」](#) [請求記号]T74H
- ・第7回(1998年) [井上 暖「ぼくは、父さんのようになりたい」](#)
- ・第8回(1999年) [清水 公代「天空の民」](#) [請求記号]T74H
- ・第9回(2000年) [渡里 彰造「Personal View\[視線の範囲\]」](#) [請求記号]T74H
- ・第10回(2001年) [竹林 喜由「塩の道 秋葉街道」](#) [請求記号]T74H
- ・第11回(2002年) [角田 和夫「ニューヨーク地下鉄ストーリー」](#) [請求記号]T74H ◎
- ・第12回(2003年) [石川 博雄「静かな時への誘惑」](#)
- ・第13回(2004年) [飯田 樹「海を見ていた-房総の海岸物語-」](#) [請求記号]T74H ◎
- ・第14回(2005年) [中條 均紀「古志の里Ⅱ」](#) [請求記号]T74H
- ・第15回(2006年) [田中 弘子「繭の輝き」](#)
- ・第16回(2007年) [後藤 敏夫「黄土高原の村/満蒙開拓の村」](#)
- ・第17回(2008年) [小林 勝「長崎フォトランダム-長崎ば撮ってさらき、半世紀-」](#)
- ・第18回(2009年) [大西 成明「ロマンティック・リハビリテーション~夢みるカ・20の物語~」](#) [請求記号]T74H
- ・第19回(2010年) [小栗 昌子「トオヌップ」](#) [請求記号]T74H ◎
- ・第20回(2011年) [山内 道雄「基隆」](#) [請求記号]T74H ◎
- ・第21回(2012年) [佐藤 信太郎「東京 | 天空樹 Risen in the East」](#) [請求記号]T74H ◎
- ・第22回(2013年) [小林 紀晴「遠くから来た舟」](#) [請求記号]T74H
- ・第23回(2014年) [笹岡 啓子「Remembrance」](#) [請求記号]T74H
- ・第24回(2015年) [中藤 毅彦「STREET RAMBLER」](#) [請求記号]T74H ◎
- ・第25回(2016年) [船尾 修「フィリピン残留日本人」](#) [請求記号]T74H ◎
- ・第26回(2017年) [有元 伸也「TOKYO CIRCULATION」](#) [請求記号]T74H ◎
- ・第27回(2018年) [藤岡 亜弥「川はゆく」](#) [請求記号]T74H ◎
- ・第28回(2019年) [野村 恵子「Otari-Pristine Peaks 山霊の庭」](#) [請求記号]T74H ◎
- ・第29回(2020年) [笠木 絵津子「私の知らない母」](#) [請求記号]T74H ◎
- ・第30回(2022年) [初沢 亜利「東京二〇二〇、二〇二一。」](#) [請求記号]T74H
- ・第31回(2023年) [新田 樹「Sakhalin\(サハリン\)」](#)

・図書館で所蔵している図書で調べる

※請求記号の

Tは周南市関係資料

Lは山口県内資料

Rは参考図書を示しています

掲載している資料は、2階郷土・参考室にある貸出のできない閲覧用の資料です。  
◎がついている資料については、貸出用の資料があります。職員へお尋ねください。

## ■林忠彦の作品

- ・『カストリ時代 昭和21年.東京.日本』  
朝日ソノラマ 1980年 [請求記号]T74H  
★復員、闇市、浮浪児など戦後の風俗や世相を10年あまりにわたって撮り続けた。銀座のバー・ルパンで撮影された「太宰治」が有名
- ・『日本の作家』(◎2014年小学館 復刻版)  
林 忠彦／著, 巖谷 大四／著  
主婦と生活社 1971年 [請求記号]T74H  
★終戦直後の昭和21年(1946)から25年間かけて撮影された。「川端康成」「坂口安吾」など文壇を代表する作家の顔が並ぶ
- ・『AMERICA 1955』  
徳間書店 2015年 [請求記号]T74H  
★ミス・ユニバース日本代表に同行して初渡米した際の作品 敗戦国日本とは対照的な豊かなアメリカの姿をとらえる
- ・『小説のふるさと』  
中央公論社 1957年 [請求記号]T74H  
★川端康成『伊豆の踊子』、三島由紀夫『潮騒』、壺井栄『二十四の瞳』などよく知られた12作品の舞台となった土地を訪れ、小説の風景をイメージして撮影された。
- ・『日本の画家108人』 (1) (2)  
美術出版社 1978年 [請求記号]T74H
- ・『日本の家元』  
集英社 1983年 [請求記号]T74H
- ・『若き修羅たちの里-長州路』  
講談社 1981年 [請求記号]T74H
- ・『文士の時代』(◎2014年中央公論新社文庫本・1986年刊の増補編集版)  
朝日新聞社 1986年 [請求記号]T74H  
★『日本作家』の撮影当時の印象を再び思い起こし 文章に綴って写真集にしたもの
- ・『茶室』  
婦人画報社 1986年 [請求記号]T74H
- ・『東海道』  
集英社 1990年 [請求記号]T74H  
★昭和60年(1985)肝臓ガンを宣告され更に脳出血に襲われ、下半身不随となりながら5年もかけて撮影し完成させた作品
- ・『林忠彦写真全集』  
平凡社 1992年 [請求記号]T74H
- ・『時代を語る 林忠彦の仕事』 ◎  
光村推古書店 2018年 [請求記号]T74H
- ・『昭和を駆け抜ける』 ◎  
クレヴィス 2018年 [請求記号]T74H

## ■その他

### ・『林忠彦賞20回記念写真展 記念誌』 ◎

周南市美術博物館／編集  
周南市美術博物館 2011年 平凡社 [請求記号]T74H

### ・『評伝林忠彦-時代の風景』

岡井 耀毅／著  
朝日新聞社 2000年 [請求記号]T74O

### ・『オヤジの背中』

林 義勝／著  
日本写真企画 2015年 [請求記号]T74H

### ・『きらり山口人物伝 Vol.5』 p102～p119 ◎

山口県ひとつづくり財団 2011年 朝日新聞社 [請求記号]L28K

## ・新聞で調べる

図書館では当日の新聞を1階で、過去の新聞を2階で見ることができます。  
また『毎日新聞 縮刷版』を昭和29年から所蔵しています。

## ・Webサイトで調べる

### ・周南市美術博物館: 林忠彦賞公式サイト

<http://www.hayashi-award.com/>

林忠彦賞の「募集要項」・「賞の概要」、「歴代受賞者の作品紹介・関連情報」、「林忠彦の紹介」

★周南市美術博物館内に林忠彦記念室(展示室4)があります。

林忠彦の奇跡を作品やビデオでたどり、「太宰治」を撮影した銀座のバー・ルパンが再現してあります。

## ・図書館にない資料を探す

## ■所蔵している図書館を調べる

・「山口県内図書館横断検索」<https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/wo/cross/>  
山口県内の連携している複数の図書館を同時に検索できる。

・「国立国会図書館サーチ」 <http://iss.ndl.go.jp/>  
全国都道府県立図書館、政令指定都市の図書館の所蔵が分かる。

## ■現物貸借・複写取り寄せ・購入依頼

### ・相互貸借

周南市外の図書館・国立国会図書館等の資料の複写・借受が出来る。  
「予約・リクエスト票」に記入の上、申し込んでください。

### ・購入依頼

購入してほしい本がある場合は、「予約・リクエスト票」に記入して  
申し込んでください。(おひとり、月1冊まで)